



水の大切さを学ぶ



4年生は、家庭に届く水について学習を行います。そこで8日(水)、中田井浄水場を見学しました。はじめは濁っていた水がどんどんきれいになる様子に、驚きを隠せないようでした。施設を見学した後は、水がきれいになる仕組みについて学習しました。濁った水やオレンジジュースを簡易の浄水キットに流し込むと、透明な水が出てきました。子どもたちは、水を浄化するための仕組みにとっても驚いていました。安全な水を届けることに努力している人のお話を聞き、ますますその価値がよくわかったことでしょう。これまで以上に水を大切にする気持ちが高まりましたね。



いよいよプール開き!



6月15日(水)、プール開きを行いました。とはいえ、今年は例年より遅い梅雨入りで、プール開きとともに雨天が続き水温・気温が低いためなかなか泳げていません。新型コロナウイルス感染拡大予防対策を講じながら、子どもたちの健康と安全を第一に水泳学習を行います。また、16日より水泳特別練習も始まりました。子どもたちの泳力を伸ばせるよう教職員一丸となって取り組みます。



夏季におけるマスクの着用について



気温・湿度や暑さ指数が高くなる中においてマスクを着用することは、熱中症のリスクを高くする恐れがあります。熱中症は命に係わる重大な問題であることから、文部科学省のガイドラインに沿って以下のような場合にはマスクの着用を不要とします。なお、マスクの着用を希望する児童については、外すことを強制するものではありません。ご理解とご協力をお願いします。

- (屋外)
 - ・人との距離(およそ2m以上)が確保できる場合
 <例>密にならない外遊び
 - ・人との距離が確保できなくても、会話をほとんど行わないような場合
 <例>自然観察や写生活動等
- (屋内)
 - ・人との距離が確保でき、会話をほとんど行わないような場合
 <例>広い場所での個人で行う読書や調べ学習、
- (学校生活)
 - ・プールや体育館、運動場での授業(運動時)、登下校の際

※ 活動中以外の練習場所や更衣室等、食事や集団での移動を行う場合は、状況に応じて、マスク着用を含めた感染対策を徹底します。また、マスクを着用しない場合であっても引き続き、手洗い、「密」の回避等の基本的な感染対策を継続します。